

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
医療コミュニケーション論		BNNSB3L18	20305	1前	1(15)	必修
担当教員	豊田 久美子	実務歴	有	看護師として病院/診療所に8年勤務		
概要	医療・看護において、コミュニケーションが人々との相互の関係に影響することを理解し、より良い支援のためのコミュニケーションを学ぶ。					
学修目標	1)医療・看護において、コミュニケーションが人々との相互の関係に影響することを説明できる。 2)人々との相互の関係を成立させるために必要とされるコミュニケーション技法について説明できる。 3)より良い支援のためのコミュニケーション技法について説明できる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	○
回	学修内容		予習・復習内容			
1	ガイダンス 医療職者と看護職者 コミュニケーションとは		予習:シラバスを読む。テキストP18～23を読む。 復習:看護職者としてどのような人たちとコミュニケーションをとる必要があるか記述する。			
2	コミュニケーションの構成要素と成立過程		予習:テキストP23～29を読む。 復習:看護の役割をはたすためのコミュニケーションについて記述する。			
3	ファーストコンタクト①:”人は見た目”が意味すること		予習:テキストP29～37を読む。 復習:看護学生として病院へ見学に行くことを想定した”見た目”で注意することを記述し、次回講義にその”見た目”で出席する。			
4	ファーストコンタクト②:挨拶の意味		予習:日常生活の中で、自分や他者が挨拶している場面を振り返り、挨拶にどのような意味があるか考える。 復習:日常生活の中で、”挨拶”の意味を考えて挨拶をすることを実行し、その経験を通して考えたことを記述する。 看護職者として人・人々と挨拶をする意味について記述する。			
5	ファーストコンタクト③:コミュニケーションを支える環境		予習:テキストP37～43を読む。 復習:コミュニケーションにおける環境の重要性について、自分の経験を振り返り記述する。			
6	効果的なコミュニケーションの実際①聞く・聴く		予習:テキストP44～51を読む。 復習:共感的理解と同情の違いについて、具体的な例を用いて記述する。			
7	効果的なコミュニケーションの実際②話す・伝わる		予習:テキストP51～56。 復習:自分の”相手に伝わらなかった”と感じた場面を振り返り、何故伝わらなかったのか、どのようにすれば伝わるかについて記述する。			
8	まとめ(45分)		予習:1～7講の資料、ノートを振り返る。 復習:1)看護において、コミュニケーションが人々との相互の関係に影響することを記述する。 2)人々との相互の関係を成立させるために必要とされるコミュニケーション技法について記述する。 3)人間らしさを尊重するコミュニケーション技法について記述する。			
使用テキスト	有田 清子他:《系統看護学講座 専門分野 I》 基礎看護学2 基礎看護技術 I,第17版(2019), 医学書院.					
参考図書	適宜紹介する					
成績評価基準	定期試験60%・課題40%					